

アートキャンプ2018



はじめに

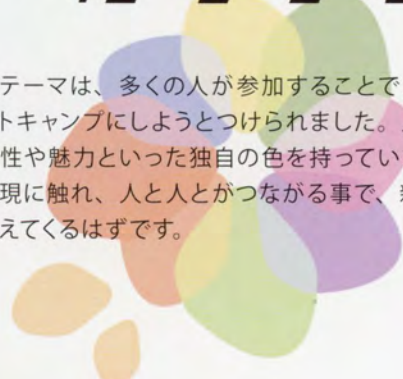
アートキャンプ2018

テーマ

カラフル

「板橋アートキャンプ 2018」は東京家政大学板橋キャンパスにて 2018 年 10 月 6 日、7 日に開催されました。本学の造形表現学科の学生が中心となり、幅広いアートの実現を目指すプロジェクトです。

このテーマは、多くの人が参加することでカラフルなアートキャンプにしようと思われました。人はそれぞれ個性や魅力といった独自の色を持っています。様々な表現に触れ、人と人がつながる事で、新たな世界が見えてくるはずですよ。



学科長あいさつ

今年のテーマは「カラフル」と決まり、様々な「カラー」が提案されました、それぞれプログラムの「カラー」が関わる人同士の関係性の中にどう現れるか、興味深いテーマと感じます。

一人一人のカラーが重なりカラフルになる、そんな彩りあるテーマに多くの人の参加があり、今年も児童教育学科や環境教育学科、附属中高からの参加など、広がりのある内容となりました。また、ヒューマンライフ支援センターの「森のサロン」、SD サークルの参加もありました。

アートキャンプは今年で 7 回目となりましたが、今年度は、初めてオープンキャンパスと同日開催としました。一般の方の目にも触れることで、良い緊張感も生まれ、盛況のうちに幕が閉じました。

準備、当日と駆け抜けた多くの学生たちは、何を感じ取り、学んだでしょうか？

感じたことを心の内でじっくり噛み締める。そんな時間を持つことも大切なことです。成功したことも思うようにいかなかったことも、全てが価値ある経験です。自分自身の色が他者へ映り込み、混ざり合い、より鮮やかに輝き、人として成長してくれたであろうことを願っています。

この冊子は、二日間のために積み重ねた思いの詰まったドキュメントです。冊子のディレクションや、デザインの細部に渡り、すべてを学生の手により制作されました。参加した人もそうでない人も、是非じっくりとご覧ください。

造形表現学科
学科長 兼古昭彦





CONTENTS

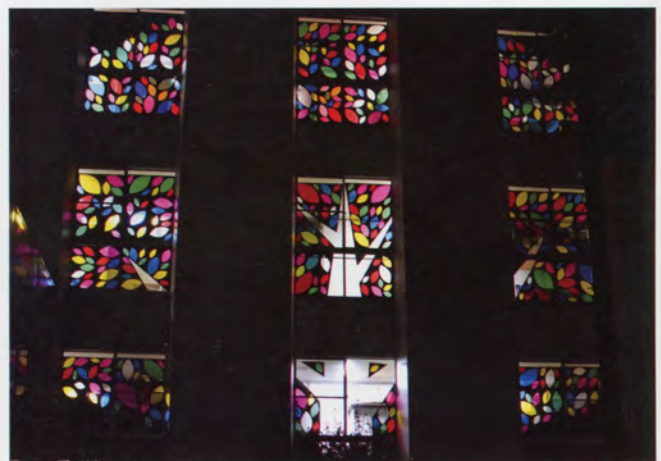
はじめに	01
目次	02
開催までの流れ	03
スタンプラリー&マップ	05
絵画	06
染色	07
織物	08
陶芸	09
金工	10
デジタルアート	11
プラネタリウム	12
結城ゼミ	13
4年生ライブペイント	14
パンケーキ	15
スペースデザイン	16
しろくま	17
Hulip	18
テント	19
ステージ	20
環境&炊き出し	21
附属女子中学・高校	22
アートキャンプガイド	22
本部・企画	23
本部・広報	25
本部・記録	27
おわりに	29
報告書・編集後記	30

開催までの流れ



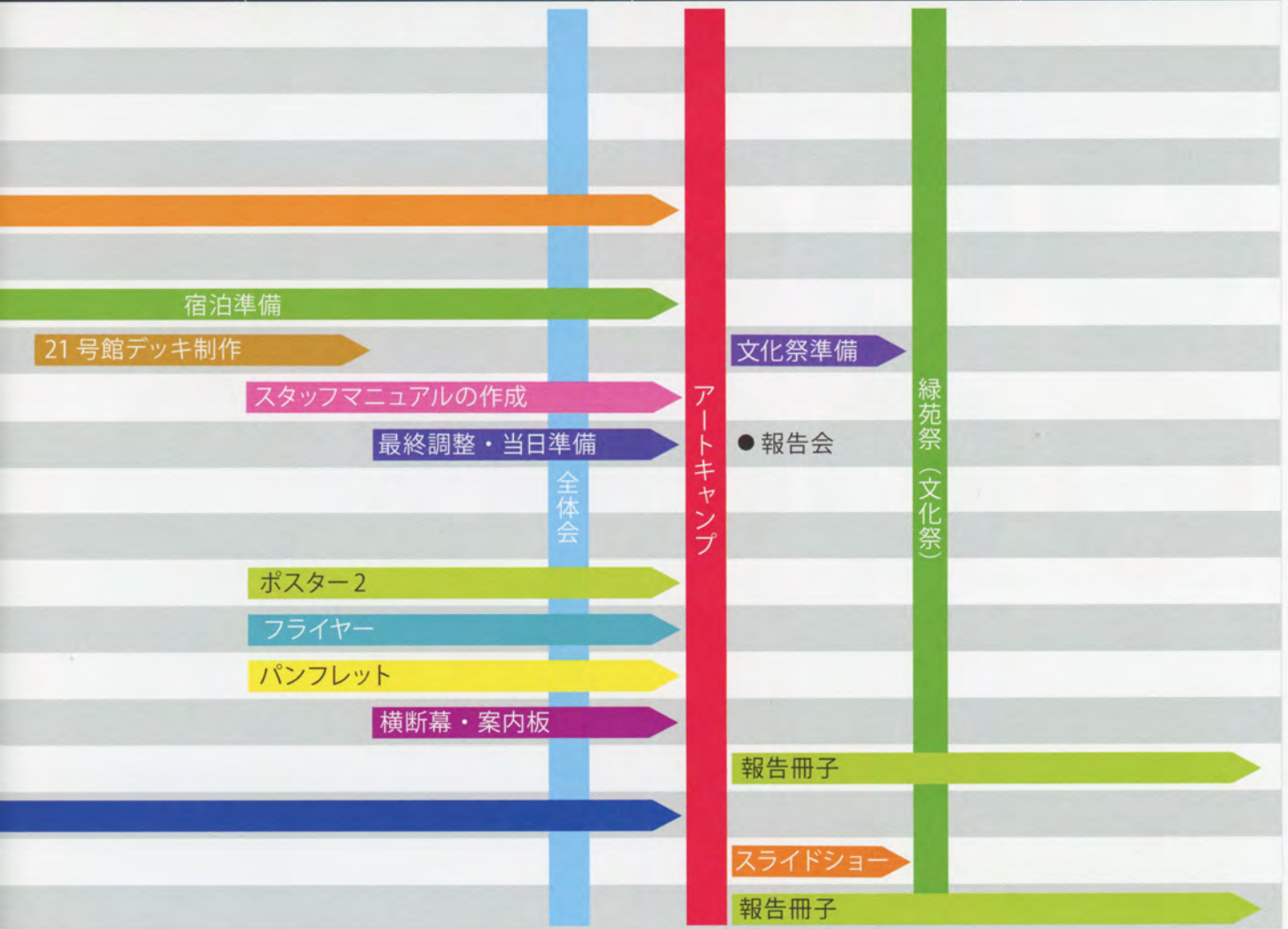
全体会

全プログラムへの情報伝達を行いました。スライドショーなどを用いて、宿泊の説明やマニュアルの共有などを行いました。当日がスムーズに進むように準備を行いました。



ウィンドウアート

本部企画では、このアートキャンプのシンボルとなるようなものをつくろうということで制作しました。窓ガラスにカラーセロファンをはり、みんなで協力しながら制作しました。夕方のライトアップは感動的でした。



ポスター制作

広報ではポスター制作などを行いました。各担当に分かれ、Illustrator・Photoshopなどを用いて制作しました。デザイン・校正などはみんなで行き、チームで一つのものを制作する楽しさがありました。



当日の写真撮影

録では準備期間や当日の写真撮影をしました。撮った写真はスライドショーやこの冊子などに使われました。カメラの技術がつくだけでなく、当日の最高の笑顔を写真に収めることができます。

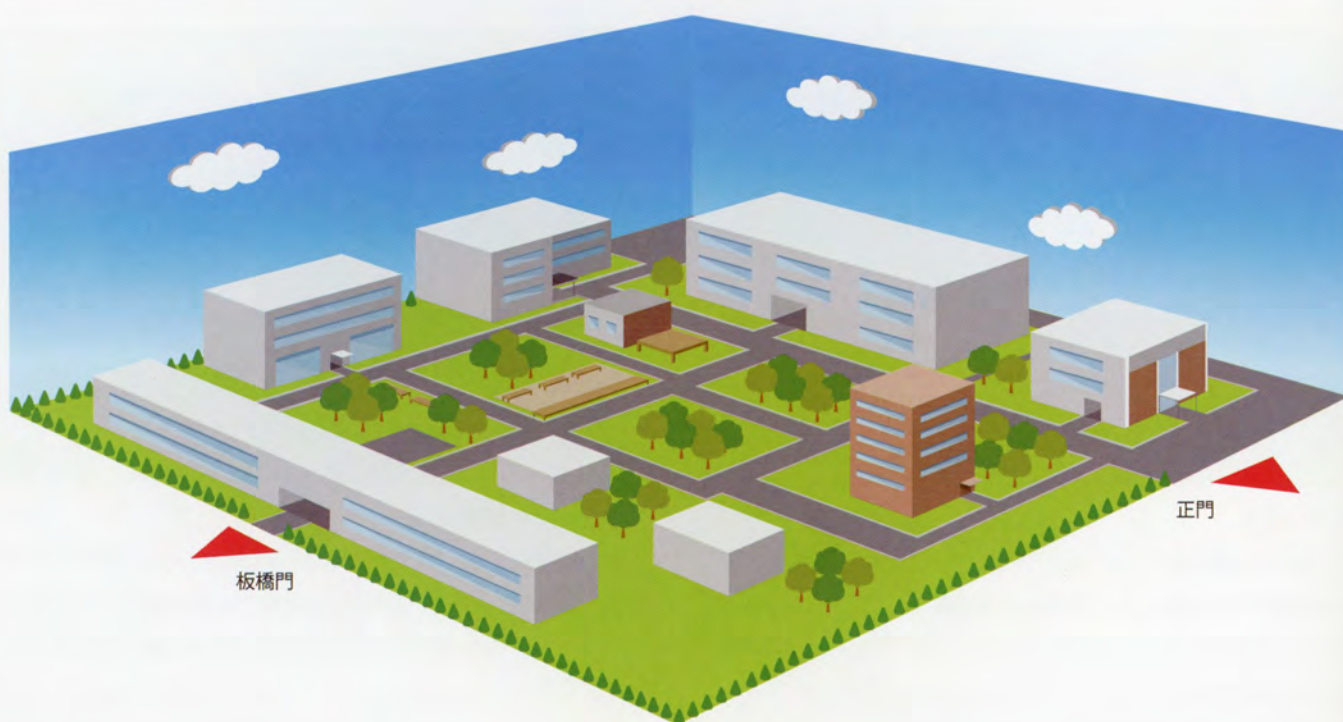


▲スタンプラリー

実際に今回のアートキャンプで使われたスタンプラリーのデザイン。参加者の皆さんにいろんなプログラムを見てもらうために考案しました。スタンプの絵は、各プログラムを表すデフォルメイラストで表現しています。

▼アートキャンプ案内マップ

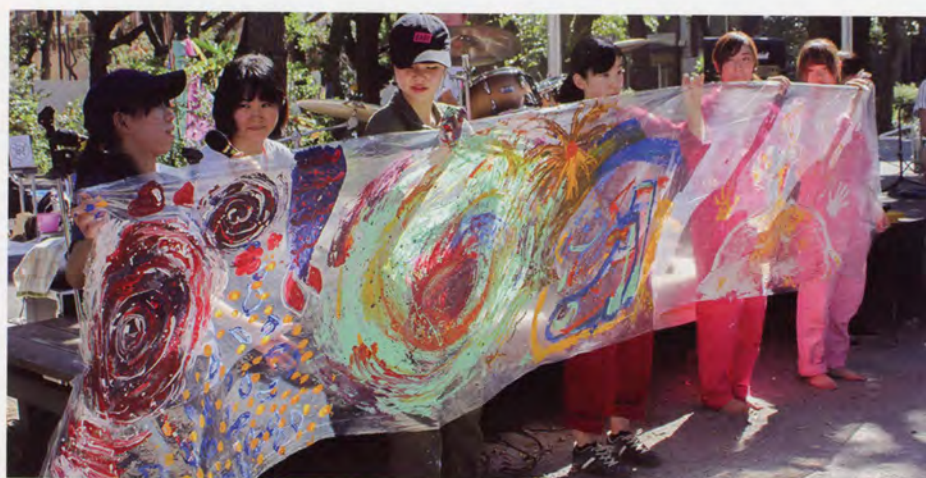
アートキャンプのパンフレットに載せた案内マップのデザイン。実際にのせたものはこのデザインに各プログラムの開催場所を記しました。広い場所でもわかりやすい案内マップになりました。





ライブパフォーマンス

絵画



自然とのペイント

絵画では、木と木の間に薄いビニールを張り、ライブペイントを行いました。アクリル絵の具を使っておのおのが自由にペイントをしていきます。また、ビニール傘にも絵の具をたらし、それを水鉄砲で撃ってもらおうというかたちで、一般の方にもこのライブペイントに参加していただきました。

音楽との融合

また、1日目・2日目とともにステージのパフォーマンスにあわせてライブペイントも行いました。歌やダンスにあわせて描くペイントは、先ほど描いたものとはまた別のおもむきを感じる作品になりました。

アートキャンプを終えて

私をはじめのアートキャンプでまさかのリーダーという不安がありました。ライブペイントは何度か集まって何かやるというものなかったので、当日までメンバーの顔合わせもろくにできていませんでした。そのため、なおさら不安でしたが、アートキャンプ当日は、メンバーの皆さんが優秀すぎてそのような不安は消えており、終止“楽しい”でした。個人的に“成功”だと思っています。

プログラムメンバー

リーダー：齋藤ユメノ

伊藤葉月 福島しおり 浦春乃 塩野萌

伊藤奈美 池田未来 稲葉成美

枇杷坂莉乃 関田あみ 石原寛子 宮澤鈴香

田中優衣 富岡沙江子 稲葉春音 高橋牧子

向井梓 福永玲季 神岡真帆 山田操季

大塚実穂 片山未唯 寺坂由希菜





染色

マーブル染めワークショップ

大人から子供まで楽しめる体験

私たち染色は、リボンと木のコースターの染色体験と、くるみボタンの工作体験を行いました。大人から子供まで楽しめるような体験を目指しました。活動を開始したのは6月頃で、コースター用の木を切ったり、染色の試しをしました。7月になると、くるみボタン用の布を染めたり、リボンを同じ長さに切りそろえたりしました。

忙しい中での活動

1日目は、もともと参加するメンバーが少ない中、授業でアートキャンプに参加できないメンバーもいました。人数が少ないため、ワークショップに参加してくださったお客さんに体験内容を説明するのに戸惑いました。その後ろさらに3～4人同時に体験したいという方が多くて大変でした。2日目は、染色体験をできるスペースをふやしたり、メンバーも慣れてきたのでスムーズに進めることができました。

今年のテーマ「カラフル」にぴったりのワークショップ

今年のアートキャンプのテーマは「カラフル」でしたが、マーブル染めは人それぞれで別の色で染められるので、とてもぴったりのワークショップの企画だと思いました。実際に体験してくださった方に、「楽しかった」、「可愛く染められました」と言われて、とても嬉しかったです。

プログラムメンバー

リーダー：中野芹菜

高橋美保 池田萌恵 坂本玲美 大前智優

後藤瑞穂 大崎瑠海 五十川夢 林寛子

江藤楓 飯泉アニタ 小澤由季 阿美百合子

加藤寛深



フェルト作りワークショップ

織物



企画内容

羊毛のフェルトボールをメンバーで協力して作り、毛糸を通したりしてテントを飾り付けました。

今回は小さな子どもたちの参加もあるとので、「幼稚園から小学生の子どもたちもちゃんと楽しめる」を目的として、色をたくさん用意し、なるべく分かりやすく時間のかからないワークショップをつくることを考えました。

当日はワークショップを開き、フェルトボール作りを体験していただき、それをブローチなどに加工しました。子どもから大人までたくさんの人が参加してくださいました。



アートキャンプを終えて

当日はメンバーも参加者もたくさん交流しながら作品を作り、和気あいあいとしてとても楽しい雰囲気でした。アートキャンプを通してメンバーも参加者も、1つの作品を作りあげる楽しさを深く感じる事が出来たと思います。初めての人も小さな子ども、好きな色の羊毛を選んで一生懸命丸めて、世界に1つの"カラフル"な作品を完成させるものづくりの楽しさで繋がる事ができたのではないのでしょうか。



プログラムメンバー

リーダー：林優香

大井つぐみ 角田志穂 南雲彩良

八重樫そら 木村くるみ 田部愛佳

土屋いずみ 鳴海結 塙佳恵 松嶋静来



陶芸

タイルの絵付けワークショップ

見つけて作る体験

私たち陶芸ではアートキャンプの会場で動物の花瓶を飾るだけでなく、参加者にタイルの絵付けをしていただく体験を企画しました。また、絵付けしていただいたタイルでベンチを作ることにより、陶芸のグループだけでなく参加者とともに作り上げる作品としてこの体験を行いました。

入念な準備

活動が6月頃から開始し絵付けをしていただくタイル作り、タイルを貼るベンチ作りを同時並行で行い、夏休み中には個人で動物の花瓶を制作。また、使われた素材として動物の花瓶には授業でも使う白土、タイルには特Bの粘土を使い楽焼きという比較的低い火度で焼成する方法でタイルを制作しました。

アートキャンプを終えて

アートキャンプでは生徒だけでなく、先生や助手さんはもちろん、参加者である子どもから大人までたくさんの方にタイルの絵付け体験をしていただきました。絵の具で塗るのは違う感覚がするため戸惑う方もいましたが、プログラムメンバー全員で丁寧に絵付けの仕方など説明しました。用意していたタイルが足りなくなるまでになり、両日ともに多くの人に参加していただき、無事成功し、プログラムメンバーの全員でカラフルな作品を作ることができました。

プログラムメンバー

リーダー：津田絵里佳 金親七海
 高橋希寧 山口真緒 渡邊茜 石井沙樹
 高橋加奈子 黒澤萌 山口優花 仲島侑花
 渡邊穂花 山田詩音里 長倉彩子 中川里奈
 長廻美穂 土田紫温 五十嵐愛里 内掘彩香





鉄ドア制作

金工



新しい技術の習得

金工では授業でできない大きな作品をグループで制作しました。また、新しい技術を習得することを目標に、人が通ることのできるドアを制作しました。このドアは通り抜ける人が楽しい気持ちになるようにイメージしていて、それに合わせドア本体のデザインも下から上に丸があがっていくようなポジティブなイメージにしました。

自分たちが「カラフル」に

金工では色彩という意味でのカラフルではなく、グループ全員が様々な技術を身につけ、自分たちが様々な色に染まっていくことで、今回のテーマである「カラフル」になっていきました。



アートキャンプを終えて

今回のアートキャンプで制作したドアは、当日の鍛鉄の体験会にきたお客さんに叩いてもらったパーツを使用しました。金工メンバーだけでなくたくさんの人との関わりがあったからこそ完成した作品だと思います。金工では4月から約半年間、検討と試作を繰り返し、授業では習得できない技術を身につけることができ、大変でしたがとても有意義な時間を過ごすことができました。



プログラムメンバー

リーダー：西村萌

野原ひなの 横橋滯 古沢梓 深沢さやか
清水香奈 深谷華子 清水瑠莉 五郎川絢香



デジタル

デジタルアート体感展示作品

活動内容について

アニメーションとピアノを制作し、それらを連動させました。ピアノを弾くとアニメーションが動き出し、作品を体感する体験アートを企画しました。

目的について

体験型の作品を制作することで、アートキャンプ参加者がよりアートを深く知り、体感から楽しめる企画をやりたいと思い、この作品を制作することにしました。

成果について

ピアノの白鍵を触ると星が音に合わせて打ち上がり、最後にアートキャンプのテーマ『カラフル』をイメージしたアニメーションが見られる作品を完成させました。アートキャンプ参加者がピアノを楽しく弾きアニメーションに感動できる空間を提供できたことで、目標を達成することができました。

感想

アートキャンプでは初めての企画だったので、当日に上手くいくか心配でした。正直に言うと、企画倒れするんじゃないかと思ってました。実際、作業が思い通りに進まないことが多く、当日まで大変でした。でも、メンバー全員が最後まで諦めず、協力してアニメーションとピアノを完成させられたので、アートキャンプに参加してくれた方を楽しませることができて嬉しいです。

プログラムメンバー

リーダー：木村茜
梅村紗彩 川井美智 小林滉菜
佐藤かおり 関野水玲 高野璃々花



テント型プラネタリウム

映像



企画内容

テントとプラネタリウムを掛け合わせた新しい企画。子どもから大人まで体験しやすいものを作ろうと、休憩できるようなものを企画しました。自分達で何か新しいものを作り出したいという挑戦、またみんなで楽しめるものを作りたい意図が込められています。

活動の流れ

- 4月 企画内容の話し合い
- 5月 テント組 映像組の振り分け
- 6月 予算案作成 木材発注 イラスト作成
- 7月 木材の切り出し
- 9月 骨組み テント布作成 イラスト映像の作成
- 10月 引続き作成 当日設置作業

アートキャンプ当日の感想

予想以上の楽しさでした。舞台では常に音楽が流れていて、とても穏やかでした。全体の企画内容はとても中身がありました。当日は自分達が思っていたよりも、子どもから大人まで幅広い年齢層のお客さんがテント型プラネタリウムに興味を持ち、中に入ってくれたのが嬉しかったです。テント内で映像を流したとき、「綺麗ですね」「これ自分達で作ったの？すごいね！」などと言われ、作ってよかったと思いました。何度か失敗したり、大変なときもあったが、みんなで何かを作り上げる達成感を感じ、協力することの大切さを学ぶことができました。無事終わることができて良かったです。

プログラムメンバー

リーダー：加藤木陽菜
河口萌々香 積田実玲 木下幸 浅倉里菜
飯野ゆき 細井真央 町田美玲 武井梨沙
芦刈奏子 古川聖奈





結城

風船爆弾ライブペイント

身近なもので楽しく

子どもから大人まで幅広い年代の方に参加していただいてアートに関わっていただくということがコンセプト。アートとは、誰にでもできるものであり、身近にあるものもアートになるということを伝えたくてこのプログラムを企画しました。

5月からゼミの時間を使い、実際に自分たちで作品を作ってみて、よりよい作品を作るにはどうしたらよいかなど改善点をあげ、自習その改善点を直していくというように、ほぼ毎週実験しました。

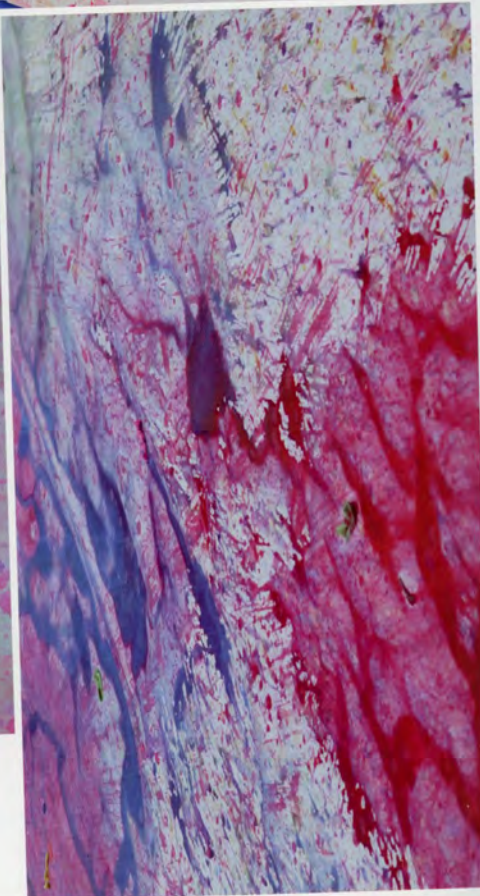
感想

私たちは今回初めてアートキャンプの存在を知り、企画も出させていただきます。慣れないことばかりなのに初心者の私たちでもできるテーマに沿ったアートとは何かを考えることが大変でした。

けれど、企画が決まり、準備を進めていくうちにどのようにしたらもっと色が綺麗に広がるのだろう、どのようにしたら色がきちんと紙につくのだろう、といったことを自然に考えるようになり、常にどうすればいいのかと考え試行錯誤してあの形にたどり着くことができました。

実際今でもアートは何かといわれたら具体的にはわかりません。ですが、アートは私たちの身近なところにあり、私たちの活動そのものがアートになり得るということが今回のアートキャンプで学びました。

本番当日までハプニングが絶えず、気が気ではなかったのですが、無事に2日間を終えることができ、たくさんの笑顔を見ることができ、たくさんの方に体験していただいて楽しんでもらったのでよかったです。お世話になりました。ありがとうございました。



プログラムメンバー

リーダー：渡邊佑理
石川怜美 石黒葵 岩田唯



粗大ゴミでライブペイント

4年ライブ



有志の集い

4年A2クラスの5人がライブペイントをしました。支持体は学校から出た粗大ゴミ。テントにビニールを張って側面や天井にもペイントできるようにしました。自由にそれぞれがやりたいように表現すること、例えば、ペンキをブチまけたり、家具に落書きしたり……そんな普段やれないことをやるのが目的でした。

自由に描ききる楽しさ

自分たちが想像していた以上にいい出来で、先生方にも好評でした。今までやった中で一番好き勝手に、それでいて自由奔放にできたライブペイントでした。大学最後のいい思い出になりました。

感想

ゼミも作る作品の雰囲気もバラバラ。仲はいいけどいつメンではない。そんな5人だったからこそできた作品だと思っています。卒制で忙しい時期だったが参加してよかったと思います。

プログラムメンバー

リーダー：山本夏己

丸山紗英 東太田鈴菜 府川園美 高橋依純





パンケーキ ————— パンケーキアート

企画を始動するにあたって

今回初のこの企画のコンセプトは「アート×食べ物」。イベントを盛り上げる上で大切なことが3つあるとしたら、それは「体験すること」「お土産を得ること」そして「食べること」です。アートキャンプらしく食品とアートを掛け合わせて、新しいプログラム パンケーキアートを企画することになりました。

当日は大盛況!

初めての企画でしたので、当日の来客数や混み具合の予想がつかず、1日50食、2日間で100食を提供する予定でしたが、当日は列ができるほど多くの方が来ていただきました。長い時間を待ってでもパンケーキアートに参加して下さる方、一人一人に感謝の気持ちでいっぱいでした。そんな方々全員にパンケーキアートを体験していただきたくて、終了時間を延長したり食材やホットプレートの台数も増やしたりして、結果2日間で計170食以上を提供することが出来ました。

アートキャンプを終えて

家政大の学生だけでなく先生や小さなお子さん、保護者の方々まで多くの方がパンケーキアートを楽しんでくださいました。「体験して楽しい」「見ていて楽しい」「食べて美味しい」そんなみんなが笑顔になるプログラムとなり、本当に嬉しく思います。

プログラムメンバー

リーダー: 麦倉優有季

徳武加奈恵 神谷麻友子 齋藤新菜

染谷鮎子 大川詩織 鈴木菜帆 新井瑠那

小島悠以 廣井美希





スペースデザインサークル

SD



ちょっと一息しませんか？

スペースデザインサークルでは、来場者の皆様に休憩処となる『和風喫茶 やすらぎ』をつくりました。

4月から活動を開始し、暖簾や休憩スペースやイスの制作を主に行いました。飾りつけには紐と風船のランプシェード、切り絵、自作の暖簾などを使って、より一層和風な雰囲気味わってもらえるように工夫しています。

当日は懇談会調理のお手伝いや、提供するピザを焼いたりで大忙しでしたが、たくさんの来場者の方によるこんでもらえました。



テーマの『カラフル』について

実は去年のサークル内のテーマがカラフルでした。なのでそれを参考にしつつ何色を使うか試行錯誤しながら取り組みました。『和風』という今回のサークルのテーマと、全体のテーマである『カラフル』が見事に調和した、誰もがくつろげる素敵な休憩どころになったのではないのでしょうか。

プログラムメンバー

リーダー：野田衣純

松永紫乃 保田風花 新村美奈 永野里奈

國見圭奈子 飯塚莉子 平松優理

飯田彩香 関野水玲 芦刈奏子

日南真由子 南愛里 北村真弓

穴倉恵美里 村木真帆 山崎里花

片山未唯 藤井佐吉子 大塚実穂

富岡沙江子





しろくま

キャンドル作りワークショップ

話題のグランピング

今年のしろくまは、いま流行りの「グラマラス」と「キャンピング」を合わせた「グランピング」をテーマに、居心地のよい空間の提供を企画しました。

コツコツ進めた空間作り

心配していた天気も見事な快晴で、懸命に繋ぎ合わせたテントを張ることができました。そうしてようやく当日にしろくまの空間の完成を見ることができました。大きなテントは遠くから見ても目立ち、何をやっているんだろうと覗きにきてくれる人が多くとても嬉しかったです。テントの中からは木漏れ日が綺麗に見え、テントのお陰で日差しも柔らかくとても心地よい空間を作ることができました。1日目の夜には寄付していただいたキャンドルの点灯式とスタンドガラスのライトアップを行い、昼とはまた違ったキラキラとした空間を作り出すことができました。



プログラムメンバー

リーダー：吉川茉莉

本橋京香 藤野葵 武縄千裕 松澤栞
 横山瑞季 松永紫乃 水澤未波 中村香澄
 若宮ゆきの 深野冬帆 千場里穂 早川千晶
 関口珠姫 芳尾咲季子 田代菜奈子
 南明日香 櫻井聖乃 岩崎香帆 上野萌優
 山崎春香 宮田玲奈 石井優里奈 遠藤瞳
 宮明菜 又吉さやか 宮崎碧 中野那桜里
 藁谷泉月 横村早咲 柴崎未衣那
 岩井このみ 柴谷英里





風のせんたくものの

Hulip



青空の下のワークショップ

2,3歳の親子が絵具で自由に色あそびをする中で、イラストレーターのしもかわしょうこさんが線画で子どもたちを描いていくワークショップを企画しました。色と線の対比の面白さ、野外で行うダイナミックな遊びを楽しんでほしいという思いを込めました。

アートキャンプを終えて

ステージから聴こえる音楽、いつもとは違う空間。アートキャンプの雰囲気の中で森のサロンの親子ワークショップが開催でき、嬉しい楽しい時間を過ごすことができました。自然の中でたくさんの人に囲まれて過ごした時間は、子どもたちの心にもカラフルな思い出となって残ったことと思います。



<しもかわしょうこさん より>

子どもたちが紙芝居に耳をそばだてる一瞬、絵の具の‘いたずら’に夢中になる集中力に驚きました。興味のほうへ飛ばされていく姿が、まるで風に吹かれる木の葉のようで、子どもたちの純粋な感性にただ感動し、私もかき立てられながら描きました。ことばではないところで通じ合ったような、ふしぎな共同制作でした。





テント

colorful tee pee tent

企画について

テントのテーマは「アートキャンプの象徴となるテントを作り」でした。各プログラムに布の装飾を手伝ってもらい、その作ってもらった一枚の布を繋ぎ合わせ、テントを作りました。

テーマ「カラフル」について

カラフルはよく使う言葉なので発想が湧きやすいと思いました。テントでもいろんな布を使ってカラフルというテーマに繋げようとも思いました。

何月から活動したか

7月から活動し、テントはどれくらい要るか、木に巻きつけるには何が必要か、全体の色を見てどんな装飾をしたらいいのかなどを準備しました。

アートキャンプを終えて

アートキャンプ初参加で当日まで想像が出来なくて不安の方が多かったですが、思っていた以上の仕上がりで感動しました。初めて話す方やナースリーの子もたちとも触れ合えて、テントでの後輩もできました。一つのことを成し遂げることが最近なかったので、私たちのにとって大きな一歩となりました。本当にアートキャンプに参加してよかったです。

プログラムメンバー

リーダー：藤林由美香
小山侑紀奈 亀岡美由海 土田有紗
植田菜月 柴田七彩 松井杏奈 本間咲紀
茂木春香 加藤千晴





ステージパフォーマンス



ステージ



個性的な魅せ方

美術や工芸だけではなく、音楽や身体表現など、幅広いアートを表現するパフォーマンスの場としてこの「ステージ」を企画・運営・演奏を行いました。アートキャンプ両日あわせて4つの団体が参加してくださり、魅力的で素敵なステージが開かれました。

アートキャンプを終えて

緑苑祭前にもかかわらず、多くの団体にこのステージ企画に参加していただき感謝致します。会場全体の雰囲気も盛り上がり、盛況に終わったように思います。参加していただいた団体にも、充実した活動記録の一つとして貢献できたのではないかと感じています。

ステージ企画参加団体

軽音楽部代表
 心理カウンセリング学科3年皆川奈津子
 フラダンスサークル～PuaLani～代表
 栄養学科2年山西美沙希
 ジャズ研究会代表
 服飾美術学科3年松井みのり
 造形ダンス部代表
 造形表現学科1年齋藤新菜

ステージ企画運営メンバー

造形表現学科3年廣井美希 小坂絵麻



植物観察ツアー 受付

環境

環境教育学科・環境ツアー

アートで知る自然環境

環境ツアーとは、その名の通りの企画で、普段自分たちが生活している場所の自然環境について学ぶ企画です。

1週間前から活動し始めました。まずは私たちが植物について知ることからスタートです。

最終的には、アートな一面としてフロタージュにて学生とともに見た樹木の葉脈を実際に見てもらい、それを持ち帰ってもらいました。

今回の企画で使用したものは色鉛筆と葉っぱです。

カラフル

今年のアートキャンプのテーマはカラフルだったので、テーマにちなんで色鉛筆を使用しました。普段は緑の鮮やかな色の葉っぱですが、フロタージュの際に色鉛筆を使うことによって今年のテーマに沿えたかと思います。

アートキャンプの期間中は、環境教育学科とはまた違った雰囲気、華やかで個性的な方々と積極的にお話ししながらツアーができたのがとても印象に残りました。楽しい時間になりました。

プログラムメンバー

リーダー：荒川七瀬
南澤未玖



炊き出し

栄養学科・炊き出し

アートキャンプを支える

私たちは、第1回アートキャンプから、アートキャンプ期間中の生活のベース(食事、睡眠)を野外教育を専門とする木村ゼミが整えるお手伝いを続けています。今年は懇談会用の夜食作りでしたが、趣旨は変わっていません。

活動は9月の夏休み明けから具体的な打ち合わせをスタートさせました。内容としてはメニューとそのレシピおよび食材量について、野外料理の器具の手配等を話し合いました。

当日のメニューは、焼きそば、トマト角煮、サバ缶のアヒージョ、シャキシャキポテト、コンビーフ炒めでした。 **木村博人**

二日間を終えて

ゼミのみんで協力して楽しく野外調理をすることができました。食事を通してアートキャンプに参加することが出来て良かったです。他学科の皆さんとも関われ、とても貴重な体験が出来ました。ありがとうございました。

メンバー

リーダー：高島海咲 小林夏奈
児童教育学科14名 栄養学科11名
心理カウンセリング学科1名
環境教育学科1名
ヒューリップメンバー5名





アートフォトで家政をめぐる

中高



企画内容について

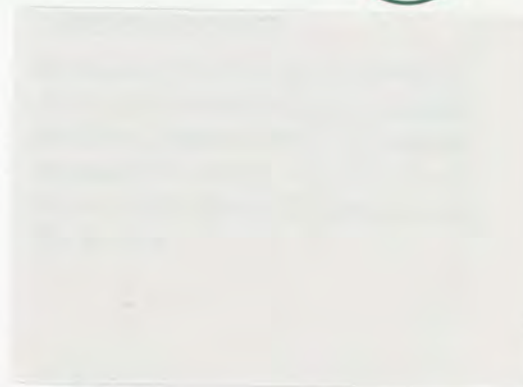
附属女子中高のアドミッションスタッフは、中高の教育環境を探検して各施設などをアートフォトで撮影し、掲示をさせていただきました。アートフォトグラフィーの世界から家政自慢をたくさん見つけました。

テーマ「カラフル」について

中高生にとっての「カラフル」という言葉には、「可愛らしく、美しく、豊かさ」などのイメージがありました。造形表現学科の先輩の皆さんの芸術的感覚を乱さないように、自由な発想を活かさせていただきました。

参加メンバー

東京家政大学附属女子中学校高等学校
アドミッションスタッフ一同



アートキャンプガイド

AGC

ART CAMP GUIDE 2018



企画内容

コンセプトは、子どもたちにアートの楽しさを伝えることでした。オープンキャンパスに参加した高校生、外部の養護施設の子どもたち、森のサロンの子どもたちを対象に、一緒に各プログラムをまわってガイドを行いました。



喜びを共有できた二日間

子どもたちは、各プログラムのワークショップ等に参加しました。数多くの分野のアートに触れ、楽しそうな笑顔が印象的でした。アートを通して参加する、つくり出す喜びを学生と子どもたちとで共有している様子が多く見うけられました。この新たな出会いが、子どもたちの心に何か大切なものを残せていたのなら嬉しいです。

参加メンバー

代表：廣井美希
加藤唯 霜鳥結 上山琴巳 飯塚月野
飯室晴香 浪間萌香 原七恵 三浦朋佳
細川菜々子 福田佳代 武井梨沙林祐子



企画

企画運営本部・企画

そもそも企画って？

企画では、各プログラムとの連絡、書類・マニュアルの作成、受付証などの小物の制作、借用物の管理などを行いました。当日は外部受付や見回りなども行いました。また、今年は本部プロジェクトという新たな活動で、「ウィンドアート」と「スタンプラリー」の実施もしました。

縁の下の力持ち

アートキャンプに向けて、各プログラムが円滑に活動できるようにサポート。本部プロジェクトであるスタンプラリーもその一部で、すべてのプログラムを回るきっかけとなれるよう考案しました。また、ウィンドアートは、造形表現学科の主となる7号館を装飾することにより、アートキャンプへの期待を高めることを願って制作しました。



最高の結果

当日は円滑にスケジュールを進めることができました。本部プロジェクトも好評で、たくさんの方に参加してもらえ、「綺麗」などの嬉しい感想も寄せられました。アートキャンプ全体で、スタッフ・来校者あわせて約500人の方が参加してくれる結果となりました。

企画参加メンバー

造形表現学科3年大井つくみ 荻野愛優
小坂絵麻 廣井美希 丸山千陽 麦倉優有季

感想

今年は開催する時期が遅かったり、プログラム数が例年より多かったりなど、戸惑うことも多かった。マニュアルも訂正に訂正を重ね、直前まで各方面と連絡を取り合った。そのおかげか、当日は天候に恵まれ、特に大きな問題もなく、アートキャンプを行うことができた。

担当教諭からのコメント

大木敦子<織物>：手の中で作られていくフェルトボール。それぞれは小さいけれど、集まってまとまって参加者もメンバーも一つの空間を創っていた。準備の大変さもあったが、2日間のメンバーたちのチームワークが印象に残っている。



山藤仁<絵画>：今年のライブペイントは広場にある樹々の幹にビニールを張り巡らせ、そこに行為の痕跡としてペインティングをした。リーダーを中心に各自が体を十分に生かした表現ができたと思う。人間が本能として描くことを感じられたのではないだろうか。

早瀬郁恵<染色>：夢中になれるマーブル染めで今までと違ったことができなかと素材選びと準備に難航した。大変だったが、協力して乗り越えられた。用意されたものを体験するより自分たちで考えてみると、より面白く夢中になれる。皆がそれを感じたのではないだろうか。

高田三平<陶芸>：陶芸は信楽タイルのベンチ作りと動物花瓶にお花を生けたものを中庭に散在させる作品だった。焼き物は工程が大切な素材なので、話し合いで工程表を創り、すべて予定通り当日にあわせてきた。事前準備を怠らずしっかりとやってきたことが成功につながったと思う。

押元信幸<金工>このプロジェクトが目指しているのは、他者と協働する「おもしろいこと」の中で、自分自身の内側からわき起こってくる「知りたい」「学びたい」「つくりたい」という根源的な能動性を回復することかもしれない、今思っている。

宮本真帆<デジタル>：「鍵盤はダンボールで作る」それを聞いて直ちに賛成した。同時に成功を確信した。制作に当たり様々な素材・技法を組み合わせられるのがこの学科の強みだ。これが刺激となり、次回また新たな発想が生まれることを期待する。



兼子昭彦<プラネタリウム>:こだわりの在り処を意識することは大切なことだ。在り処とは、表現へのこだわりを生む、心の場所のことだ。完成したプラネタリウムで星空を見上げ、それぞれが感じた想いは、その在り処を知る道標だろう。

佐藤考志<4年ライブ>:粗大ゴミなどを集めて支持体としたライブペイント。キャンパスに描くのは違う不思議な感覚がある。できた作品はとてもパワフルでした。心に残るいい思い出になったことでしょう。暑かったね〜。

手嶋尚人<スペースデザイン>:今年の進化は、土屋先生、大西先生の協力のもと栄養学科の学生と協力し、2日目の昼食企画ができたことだ。メインのピザはとても美味しく焼け、ピザ釜も先輩が作り残したものだ。多くの人の協力で実現した憩いのスペースとなった。

手嶋尚人<パンケーキ>:アートキャンプ初めてのピュアな食×アートへの挑戦となった。麦倉さんを中心に少ないメンバーでの活動であったが、食とアートという魅力的な力は最強で予想以上の多くの参加者で好評を博した。

豊田聡朗<しろくま>:今年はスタンドグラスの照明と手作りロウソクの2つの灯りを考えることから出発した。気がつくとも1年生を含めて43人の大所帯。和気あいあいとした中、大きなテントも自作し、暖かい雰囲気にも包まれた心地よい空間ができたのではないだろうか。

木村 博人<キャンプ>

有馬十三郎<広報・冊子>

森のサロンスタッフ一同<森のサロン>:参加親子の姿から、たくさんの人に囲まれてのびのびと自分を表現できる場所と時間の大切さを感じました。ヒト・モノ・コトをつなぐアートキャンプ。集う人々の育ちあいの場として豊かな表現を湛え続けてほしいと願っています。

岡本恵<テント>:樹々に囲まれた大学ではあるが土の感触に触れることは少ないだろう。テントの中では布を一枚隔てることで個々の世界の空間を味わうことができた。各チームに小間を任せ、チームの集合体の意味を持つテントを十分に味わえた。

曾根博美<ACガイド>:今年は「アートキャンプに子どもたちがたくさんくる!」ということでできた初めてのガイドプログラム。スロースタートだったが、1年生〜3年生、そして他学科の院生15名ほどが参加してくれた。当日の各プログラムでの子どもたちの笑顔が何よりのREWARDだったと思う。

片田真一<環境ツアー>:今年もうちの学生がお世話になりました。ありがとうございました。環教の学生に見えているキャンパスと造形の学生に見えているそれは違うらしいです。お互いに見せ合い理解し合えることはとても良いことです。

結城考雄<結城ゼミ>:今年は秋開催ということで、1学期から準備を重ねてきた。最終的には、嶋本昭三オマージュ「風船爆弾」になった。何度も何度も試行錯誤を繰り返して、ここまでがんばったメンバーに拍手です。これからバリエーションを加えながら定番ワークになりそう。

大西淳之<炊き出し>:土屋京子先生ご指導のもと、今年の「食リンピック」メンバー、ヒューリップスタッフ、造形表現学科の学生と組んでイロイロな野菜を一度に食べられるメニューに取り組みしてみました。味付けも班ごとにイロイロで楽しい時間となりました。個人的に昨年の11月の「食リンピック」では廣井美希さんに、今年の5月に学生CREDが主催した「新入生歓迎交流会」では斎藤楓子さんと荻野愛優さんにお世話になりました。



アートキャンプ カラフル 2018

広報

企画運営本部・広報

活動内容について

広報では、アートキャンプを盛り上げ、多くの人に知ってもらおうという目的のために活動しました。

テーマ『カラフル』について

今回のテーマは様々な人が集まり、それぞれの色を重ね、混ぜることでカラフルなアートキャンプにしようというものです。そのため今年は他学科や附属中学・高校への宣伝に力を入れました。

制作物について

具体的には、宣伝するための「シンボル・ロゴの決定」「ポスター・フライヤーの制作」「ウェブサイトの制作」を行ないました。また当日迷わずイベントを楽しめるように「パンフレットの制作」「案内板・横断幕の制作」も行いました。イベント後には各プログラムにインタビューを行い、この「報告冊子」の制作にあたりました。

製作期間について

2018年の4月から活動し始め14人で分担し、助け合いながら制作しました。

感想

不慣れで予定通りいかないこともたくさんありました。しかし14人全員で同じ目的のために制作を行うという時間は貴重で、知らなかった技術を教えあうこともできました。このメンバーでなければ成し遂げられなかったことです。とても大変ではありましたが、技術的にも精神的にも成長できたと感じました。この冊子が1人でも多くの人に届き、私たちの活動がより多くの人に知ってもらえたらと願っています。

造形表現学科主催
他学科、附属中高生も大歓迎!!

様々なアートにふれて楽しもう!

アートキャンプ2018
体験型アートイベント テーマカラフル

10/6 (土)・7 (日)
(土) 13:00 ~ 18:00
(日) 10:00 ~ 16:00

受付: 東京家政大学7号館前
会場: 東京家政大学
健康キャンパス 緑いの広場

URL: <http://www.ac-kaseidai.com>

アートキャンプ2018
テーマカラフル

アートキャンプとは?
造形表現学科の企画を中心として幅広いアートの表現を創出すプロジェクトです!

10/6 (土) - 7 (日)
(土) 13:00 ~ 18:00
(日) 10:00 ~ 16:00

※一部見学のみプログラム有り

受付: 東京家政大学7号館前
会場: 東京家政大学
健康キャンパス 緑いの広場

URL: <http://www.ac-kaseidai.com>

▲ポスター

体験型アートイベント
2018
アートキャンプ
テーマカラフル
~あふれる彩色つながる色と色~

10/6 (土) 13:00 - 18:00
10/7 (日) 10:00 - 16:00

主催: 東京家政大学 造形表現学科
受付: 東京家政大学 7号館前
会場: 東京家政大学

他学科、附属中高生も大歓迎!

QRコード

URL: <http://www.ac-kaseidai.com>

アートキャンプ2018とは?
「体験型アートキャンプ2018」は東京家政大学造形表現学科にて2018年10月6日、7日に開催されます。本学の造形表現学科の学生を中心に幅広いアートの表現を創出すプロジェクトです。

テーマカラフル
あふれる彩色つながる色と色
人はそれぞれ個性や魅力を持った独自の色を持っています。このテーマは、多くの人が参加する事でカラフルなアートキャンプにしようという目標を掲げました。様々な表現に触れ、人と人をつながる事で、新たな世界が見えてくるはずです。

プログラム紹介

しろくま キャンドル作り	陶芸 タイル作り	染色 マール染め	スペースデザインワーク 和風紙幣やすざらぎ
絵画 ライブペイント	金工 鉄と遊ぶ	パンケーキアート パンケーキアート	プラスタリウム 新感覚プラスタリウム
織物 フェルト作り	体験型アート 体験型アート	ゆうせき パルペーターアート	テント作り colorful tee pee tent
Hello 風のせんたくし	4年発表 ライブペイント (4年)	環境 植物標本アート	付属中学校・高校 アートイベントをめぐる

▲フライヤー



アートキャンプ2018 カラフル

▲シンボルマーク・ロゴタイプ

造形表現学科主催
体験型アートイベント

アートキャンプ

10/6(土)7(日)
13:00~18:00
10:00~16:00

会場：東京农业大学
板橋キャンパス 緑の広場
受付：東京农业大学7号館前

2018年テーマ
カラフル

タイムスケジュール

10月6日(土) 13:00~18:00(申込受付時間)	10月7日(日) 10:00~16:00(申込受付時間)
13:00	10:00
14:00	11:00
15:00	12:00
16:00	13:00
17:00	14:00
18:00	15:00

プログラム詳細表(略)

校内MAP

プログラム紹介

アートキャンプ2018は、東京农业大学板橋キャンパスにて2018年10月6日、7日に開催されます。本学の造形表現学科の学生を中心に幅広いアートの表現を目指すプロジェクトです。

カラフル
みんなが楽しめるイベント
人はそれぞれ個性や魅力や違った独自の色を持っています。このテーマは、多くの人が参加する事でカラフルなアートキャンプによって表現されました。様々な表現に挑戦し、人と人がつながる事で、新たな世界が生まれるはずです。

スタンプラリーやです!
各プログラムはスタンプが必ずあります。スタンプを集めてスタンプラリーをしましょう!

アートキャンプを開催できる
身体力行で取り組む
表現活動を通じて
Webページ(こちらです!)
http://www.aic.konde.ac.jp

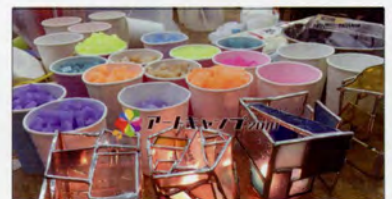
▲パンフレット

参加メンバー

リーダー：萩原愛結

新井瑠那 内田穂実 大島弓佳 木村茜
倉橋美織 黒澤萌 小島悠以 佐藤かおり

高木穂佳 高橋萌花 中野聡子
勝茜音 木村彩香 小林一花



2018年のアートキャンプは終了しました。
ご来場ありがとうございました。

ABOUT

アートキャンプとは
「造形表現学科」主催の体験型アートイベントです。本学の学生を中心に幅広いアートの表現を目指すプロジェクトです。

テーマについて
カラフル

PROGRAM

植物
フナタタリウム
版画
パンチアート
陶芸
金工
折り紙作り
4年生展
デジタルアート
スペースデザイン
染色
しるべ
結晶作り
模様
付箋制作
Help
本部

Copyright © 2018 by Art Camp 2018

▲Web



記録

企画運営本部・記録





おわりに

アートキャンプ 2018 お疲れ様でした。

今年のテーマは「カラフル」でしたが、それにふさわしく、それぞれが自分の持つ色を発揮したアートキャンプになったのではないのでしょうか。

10月に行われたり、プログラム数が多かったりと、今までのアートキャンプと違う点が多かったと思います。そういった中、皆さんが協力してくれたおかげで、無事終わることができました。

サポートしてくださった先生方や助手の皆さんにもこの場を借りて感謝申し上げます。

ひよんなことからなった本部長。大変なことは数え切れないほどありましたが、本当に楽しい2日間でした。

みなさんにとっても、「今年のアートキャンプ楽しかったな」と時々思い出してもらえるものとなっていれば嬉しく思います。

造形表現学科3年 AC本部長 大井つぐみ

今年のアートキャンプの特徴は、例年より遅く、

10月に開催したことで、長い時間をかけて計画を立て

実行できたことだ。オープンキャンパスとも絡め、参加来場者も例年以上に

多かった。参加者が増えることで各プログラムも意気が揚がり、盛り上がりを見せた。良い状況を作れたのではないだろうか。

造形表現学科独自のアートプロジェクトとはいえ、他学科の栄養、見教、環境、ヒューリップの団体も参加協力いただいた。

今では、なくてはならない存在だ。特に栄養、見教に至っては、

参加者の食事のお世話をしていただき、その技術力の高さに舌鼓を打った。

盛り上がりを見せる中、問題点も浮かび上がってきた。

それは、プログラムがマンネリ化してきたことだ。

過去の成功例を真似るのは失敗はしないが、新しい発展は望めないかもしれない。

常にチャレンジする精神を忘れてはならない。

造形表現学科アートキャンプ担当

高田三平



報告書・冊子制作を振り返って

今年のアートキャンプのテーマは「カラフルーあふれる彩能 つながる色と色ー」でした。そんなテーマをもとに、各プログラムが個性とカラーの溢れるパフォーマンスを行ったおかげで、魅力的なイベントを開催することができました。

私自身、3年生にして初めてのアートキャンプ参加となりましたが、立体であったり、平面であったり、立体から平面になったり、平面から立体になったり……。参加してみて「アート」は自由で、楽しくて、どんなことでも表現できるんだ、ということを知ることができました。また、イベントの報告書である冊子制作をすることで、各プログラムがどのような意図であの空間を作り出していたのか知ることができ、さらなる深い学びを得ることもできました。

このような素晴らしいイベントの運営や冊子制作に携われたことを嬉しく思います。加えて、この冊子を手にとって下さった皆様も、もし、アートキャンプに興味をもてたのなら、ぜひ来年、参加してみてください。最後に今回のアートキャンプに参加して下さった皆様、運営をして下さった皆様、冊子制作をして下さった皆様、アドバイスや補助をして下さった先生方や助手の皆様方、心から感謝致します。ありがとうございました。それから、大変お疲れ様でした。

編集長 倉橋美織

報告書・冊子制作メンバー

3年：萩原愛結 新井瑠那 小島悠以 中野聡子 大島弓佳 黒澤萌 木村茜 高橋萌花
佐藤かおり 内田穂実 倉橋美織 高木穂佳

2年：小林一花 木村彩香 勝茜音

指導教員 有馬十三郎

アートキャンプ 2018 報告書

編集 アートキャンプ 2018 報告書制作スタッフ

発行日 2019年1月25日

発行所 東京家政大学 家政学部 造形表現学科 〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1

印刷・製本 株式会社美創企画



